

# 広島県の農林水産業



尾道市瀬戸田地域のレモン園



瀬戸内産ブドウ使用のワイン



スマート農業の実装(自律型運搬車)



瀬戸内さかな

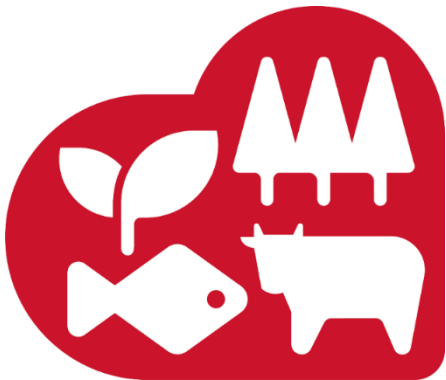


G7サミット ワーキング・ランチ



比婆牛体験フェアでの提供料理

出典: 外務省ホームページ  
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/summit/hiroshima23/photos/>)



森づくり林業体験活動事業

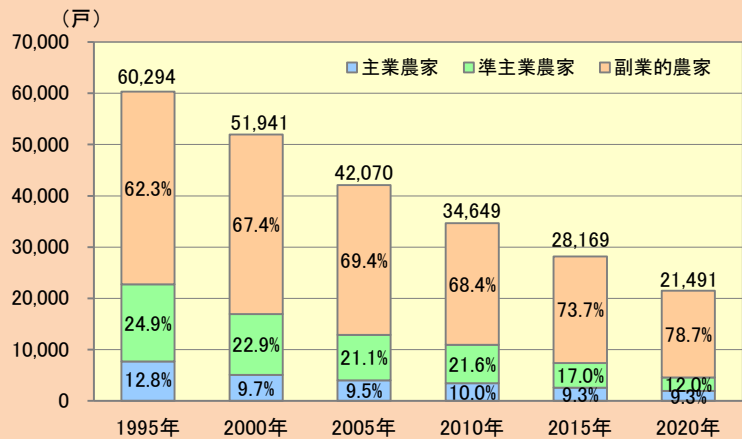
令和6(2024)年4月



広島県

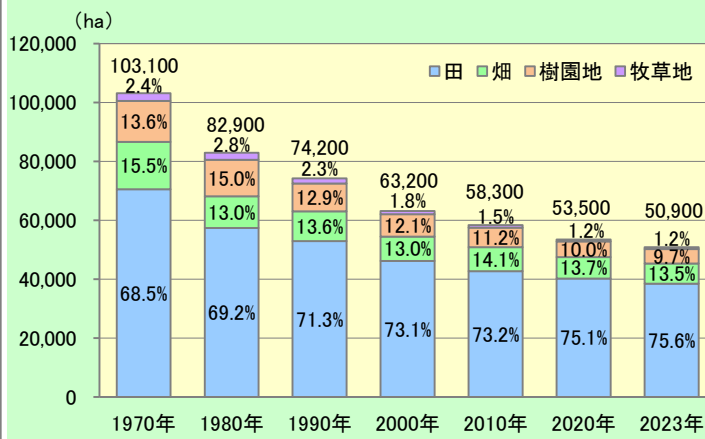
# 農 業

## 1 主副業別販売農家数



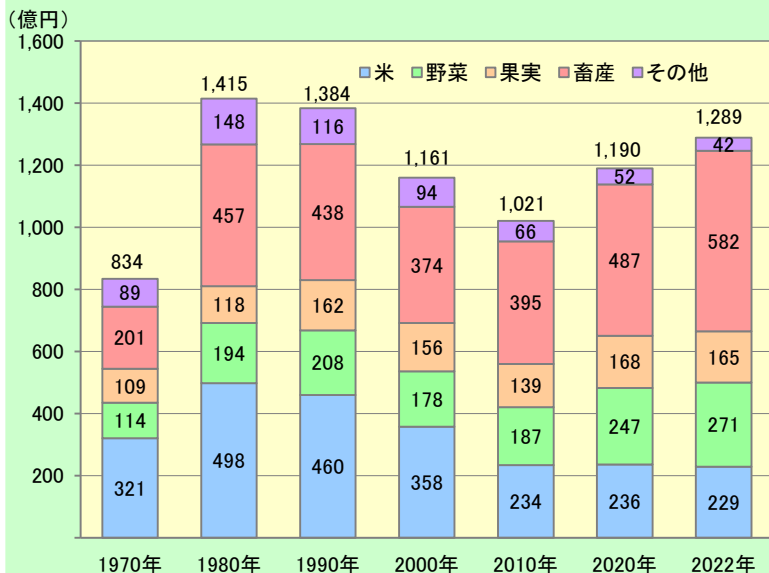
本県の販売農家は、副業的農家が約8割を占めています。  
注：1995年から2015年は販売農家数、2020年は農業経営体数のうち個人経営体数の値。

## 2 耕地面積



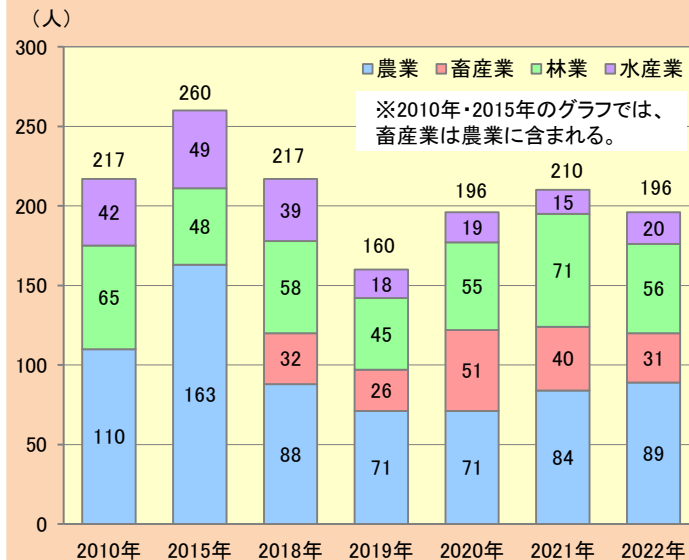
本県の耕地面積は減少傾向にあります。1経営体あたりの耕地面積は、2010年の1.0haから2020年には1.3haと増加傾向にあります。

## 3 農業産出額



2022年の農業産出額は、野菜・果実・畜産の各分野において、産出額が増加するとともに、野菜及び畜産の産出額は、それぞれ過去最高となっています。

## 4 新規就業者数（農・畜・林・水）

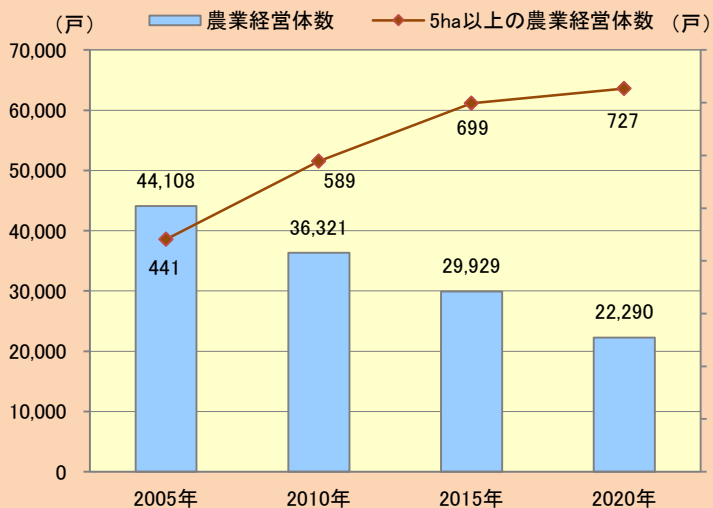


※2010年・2015年のグラフでは、畜産業は農業に含まれる。

2022年の新規就業者数は、農業及び水産業において増加しており、特に農業については、企業経営体の育成を進めてきたことにより、雇用体制を整えた経営体が増加し、雇用就業が増えていきます。

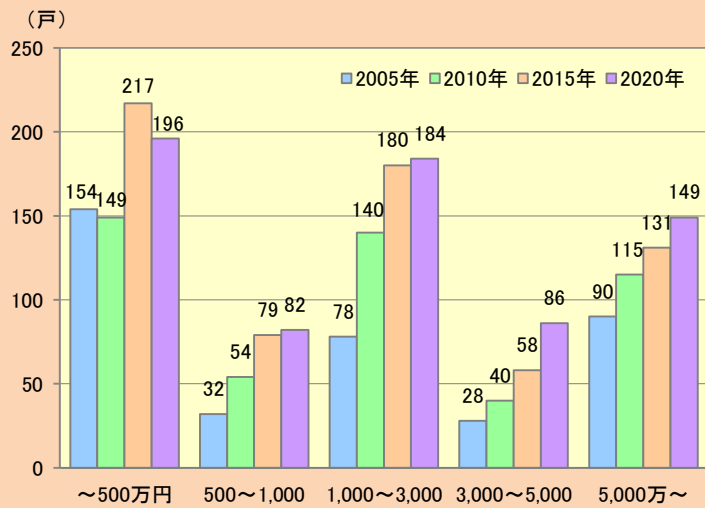
## 5 企業経営体の育成

【農業経営体数と経営耕地面積5ha以上の経営体数】



農業経営体が減少する中、担い手への農地集積が進むとともに、経営力や販売力の向上に取り組むことにより、着実に企業経営体の育成が図られています。

【法人化している農業経営体の売上高】



# 農業生産

広島県では、北部高冷地から沿岸島しょ部地域に至る多様な自然条件を生かして、米、野菜、果樹、畜産を基幹とした多様な農業を展開しています。（年の記載がない数値については、2022年値。）

## 畜産

産出額 582億円（全国16位）

生産量

牛肉 8,463t

豚肉 4,378t

生乳 51,708t

鶏卵 136,315t **全国3位**



県内飼養戸数及び飼養頭羽数（2023年2月時点）

	飼養戸数	飼養頭(羽)数	1戸平均
乳用牛	120	9,020	75.2
肉用牛	437	27,000	61.8
豚	24	151,300	6,304
採卵鶏	40	8,119,000	202,975

## 《農業産出額の上位5品目》

1位	鶏卵	284	億円
2位	米	229	億円
3位	豚	120	億円
4位	肉用牛	83	億円
5位	生乳	59	億円

## 米

産出額 229億円（全国25位）

生産量 111,800 t



【生産量の多い品種】

コシヒカリ 23,466t    あきさかり 11,019t    あきろまん 4,308t

※農産物検査ベース

## 野菜

産出額 271億円（全国28位）

生産量 92,937 t（指定野菜41品目の合計生産量）

わけぎ（2020年）

生産量 346t

全国1位



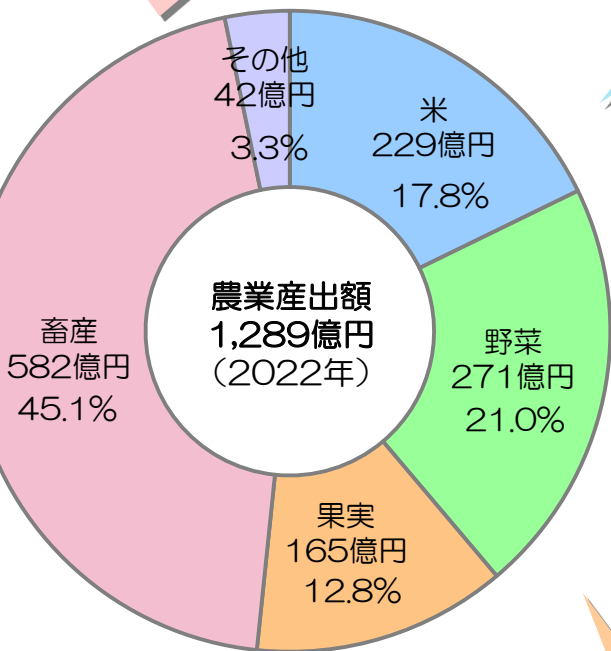
【生産面積の大きい野菜】

ねぎ 493ha    キャベツ 450ha    ほうれんそう 394ha

【産出額の高い野菜】

トマト 44億円    ねぎ 41億円    ほうれんそう 22億円

## 農業産出額 1,289億円 (2022年)



## その他

産出額 42億円

種苗木木他 11.9%

いも類 23.8%

花き 59.5%

麦・雑穀豆類 2.4%

工芸農作物 2.4%

加工農産物 0%

秋植えばれいしょ  
生産量1,800t  
全国3位



## 花き

産出額 25億円（全国39位）

出荷量 切り花類 29,900千本（2019年）

花壇用苗もの類 9,540千鉢

【出荷量の多い花き】

さく（2019年） 15,200千本

## 果実

産出額 165億円（全国14位）

生産量 27,114 t（作物統計において調査対象品目となっている14品目の合計）

みかん

16,400 t



全国9位

レモン

5,782t



全国1位

ネーブルオレンジ(2021年)

1,723t



全国1位

【生産面積の大きい果実】

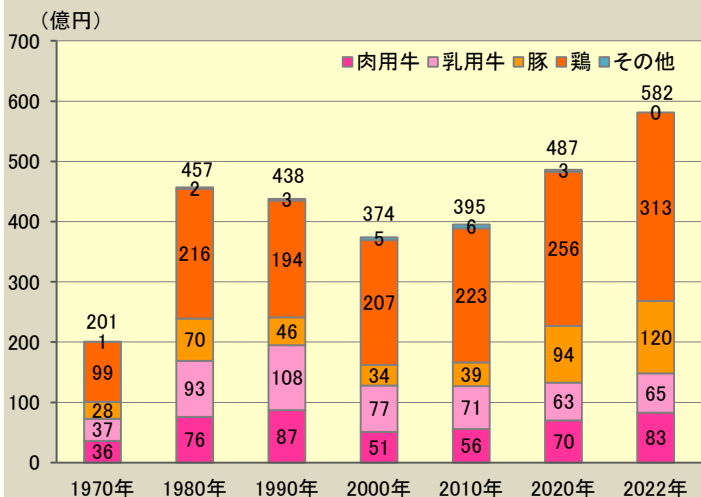
みかん 1,570ha    レモン 312ha    ぶどう 283ha

【産出額の高い果実】

みかん 38億円    ぶどう 37億円    レモン 23億円

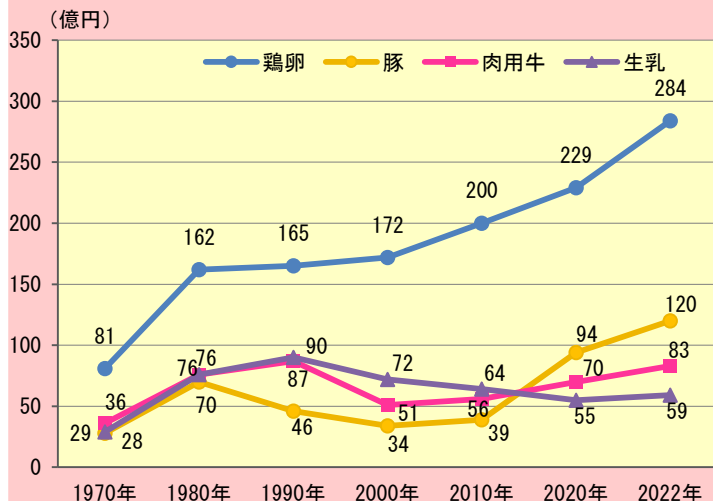
# 畜産業

## 1 農業産出額（畜産部門）



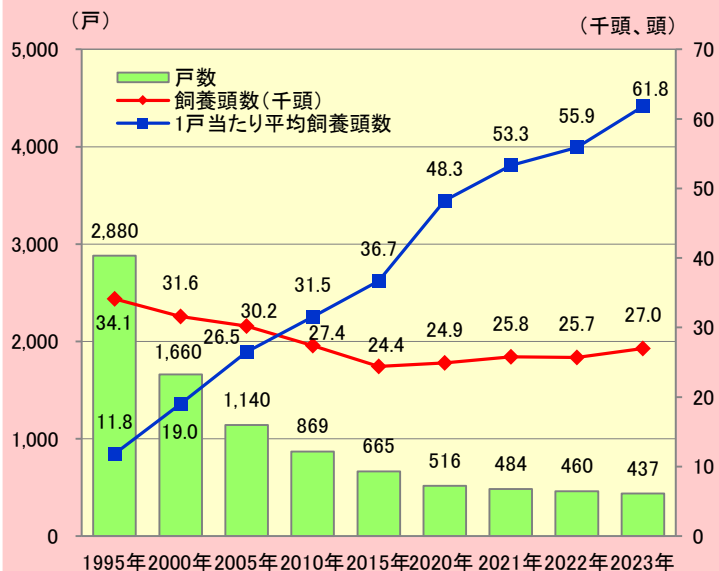
2022年の産出額のうち、乳用牛は生乳、鶏は鶏卵が、それぞれ約9割を占めています。

## 2 畜産品目別の農業産出額



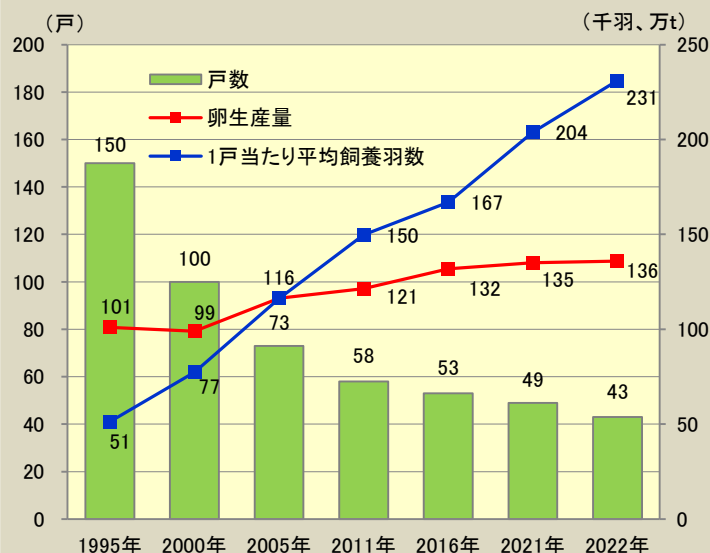
2022年の鶏卵の産出額は、茨城県、鹿児島県、岡山県、千葉県に続き、全国第5位です。

## 3 肉用牛飼養状況



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養頭数は増加しています。

## 4 採卵鶏飼養状況



飼養戸数は減少していますが、1戸当たりの平均飼養羽数及び卵の生産量は増加しています。

## 広島県農畜産物の生産状況

品目	調査時(年)	作付面積 (ha)	生産量 (t)	産出額 (億円)	
米	2022	21,100	111,800	229	
麦類	〃	358	882	非公表	
大豆	〃	400	388	1	
野菜	トマト	2022	188	10,700	44
	ねぎ	〃	493	8,320	41
	ほうれんそう	〃	394	4,690	22
	アスパラガス	〃	113	1,060	11
菜	キャベツ	〃	450	11,500	6
	わけぎ	2020	31	346	2
きく	2019	60	15,200	8	

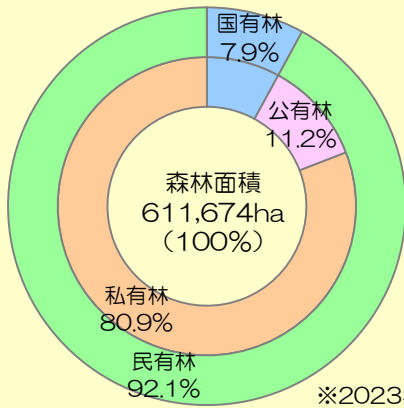
品目	調査時(年)	作付面積 (ha)	生産量 (t)	産出額 (億円)	
果樹	みかん	2022	1,570	16,400	38
	レモン	〃	312	5,782	23
	いしじ	〃	265	3,031	6
	はるか	2022	32	583	2(2021)
	ぶどう	〃	283	3,030	37
	いちじく	〃	50	377	2
畜産	鶏卵	2022	-	136,315	284
	生乳	〃	-	51,708	59
	肉用牛	〃	-	8,463	83
	豚肉	〃	-	4,378	120

注：麦類は、小麦、六条大麦、はだか麦の合計値。大豆の産出額は、豆類全体の額を示している。

出典：農林水産省「作物統計」他。なお、きくの産出額、ぶどう以外の果樹の作付面積、生産量及び産出額は県調べ。

## 1 森林資源

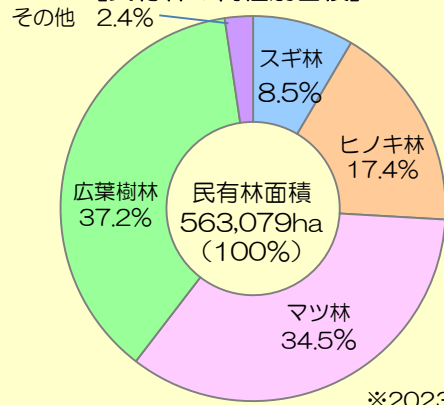
【所有形態別構成比】



※2023年4月1日現在

本県の森林面積は県土面積の72%にあたります。

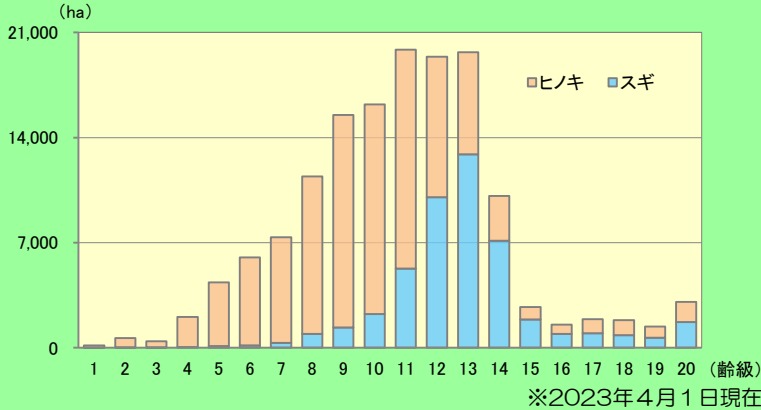
【民有林の樹種別面積】



※2023年4月1日現在

本県の民有林は、県北部地域を中心にスギ・ヒノキ等の人工林が、県中南部地域を中心に天然マツ林が広く分布しています。

## 2 人工林の齢級構成 (齢級：樹木の年齢を5年刻みで区分する単位)



## 5 県民参加の森づくり



企業による森林保全活動

出典：令和5年度 企業の森づくり活動

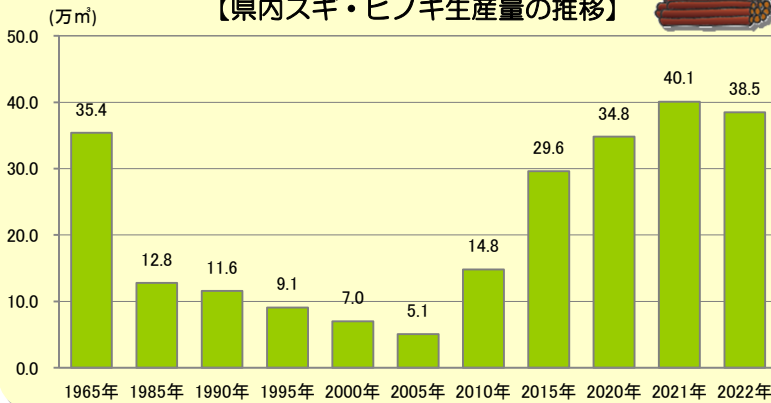
住民団体・森林ボランティア団体・企業等が放置された里山林を手入れするなど、多様な主体の参加による森林保全活動が県内各地で行われています。

《ひろしまの森づくり事業(2007~2022)》  
 人工林の間伐 14,428ha  
 ボランティア活動支援 362,020人

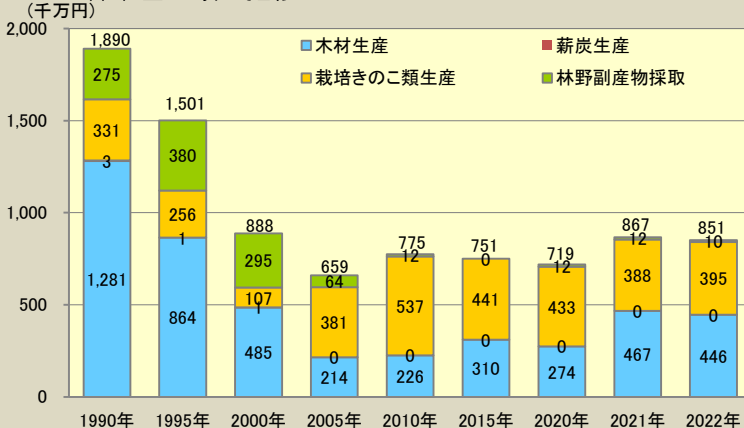


## 3 木材生産の状況

【県内スギ・ヒノキ生産量の推移】



## 4 林業産出額の推移



## 6 森林の保全



治山施設

本県の山地災害危険地区は、約2万5千地区であり、民有林の37%を保安林に指定し、治山事業の実施、水源林の造成など多様な森林整備を行いながら、森林の公的機能の維持・保全に努めています。



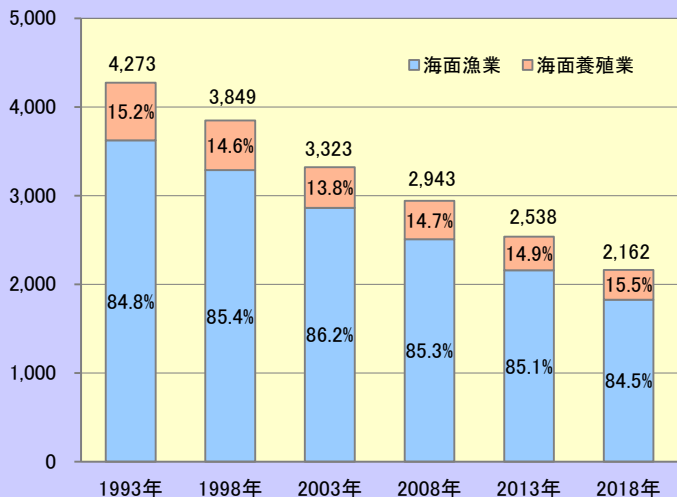
間伐された人工林

森林が放置され荒廃が進むと、「災害を防ぐ」「水を蓄える」など森林の有する公的機能が損なわれてしまいます。県では、ひろしまの森づくり県民税を財源とする「ひろしまの森づくり事業」で、荒廃した森林の再生に取り組んでいます。

# 水産業

## 1 漁業経営体

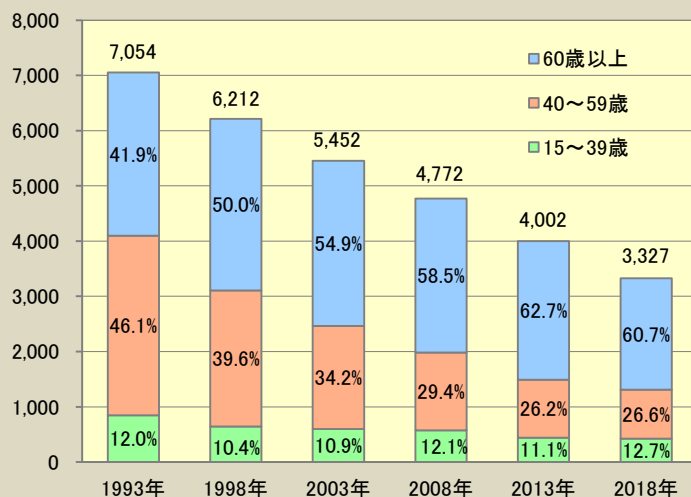
(経営体)



本県の漁業経営体数は、年々減少傾向にあります。組織別の内訳は、2018年で、個人96%、団体4%となっています。

## 2 漁業従事者

(人)

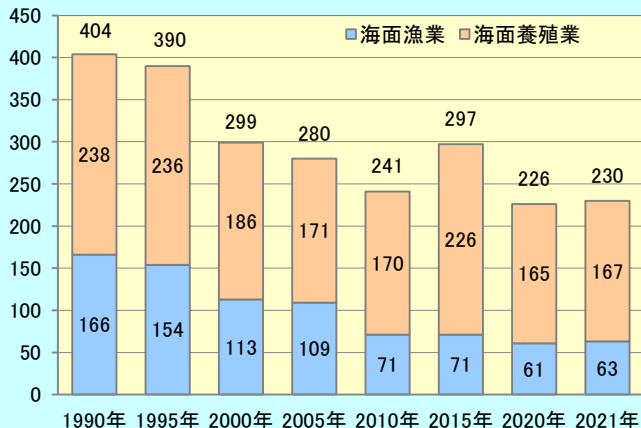


本県の漁業就業者は、年々減少傾向にあります。

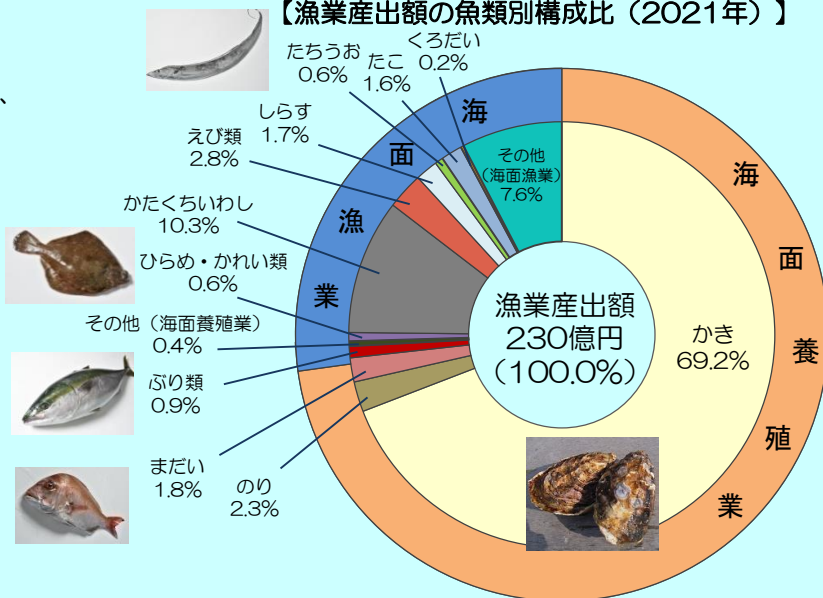
## 3 漁業産出額

本県の漁業生産額は、かきが約7割を占めています。海面漁業では小型漁船による一本釣り、刺し網、底引き網、船びき網漁業が主に行われています。

(億円)



### 【漁業産出額の魚類別構成比（2021年）】

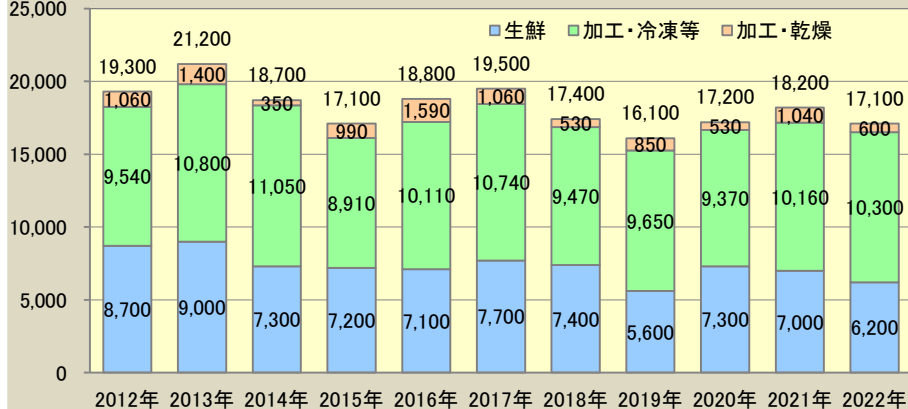


※まだい及びぶり類は海面漁業+海面養殖業の生産額合計

## 4 かきの生産量

### 【広島かき生産・出荷量の推移】

(t・剥き身)



2022年漁期の総生産量は、17,100 t（生鮮向け6,200 t 加工向け10,900 t）で全国1位です。品質のよい特色のある広島かきの提供に努めます。



かき小町  
(写真：右)

夏場に産卵しないため、身入りのよい大粒のかきとして出荷されます。



オニオコゼ  
(写真：左)

地先定着型魚種を中心に、地域ごとに特色ある水産資源を増やすとともに、本県産水産物のブランド化を促進し、消費者に安定して新鮮な水産物を供給する体制作りを構築します。

# 2025広島県農林水産業アクションプログラム

## ■ 基本理念：『生産性の高い持続可能な農林水産業の確立』

今後、広島県では人口減少や少子・高齢化が進むことが予測され、特に中山間地域においては、より厳しい環境変化が見込まれることから、中山間地域の基幹産業である農林水産業においては、経営力の高い経営体を中心となって、持続可能な生産構造を構築していくことが重要であり、あわせて集落や里山里海などを含めた環境が維持されていくことを想定

## ■ 策定の背景

平成30年3月に「ひろしま未来チャレンジビジョン 農林水産業アクションプログラム（第Ⅱ期）」を策定し、「担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立」を目指した取組を進めてきました。計画期間の最終年度である令和2年度にこの間の取組の成果と課題を検証するとともに、社会情勢及び本県の農林水産業を取り巻く環境の変化等を踏まえつつ、県の次期総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の10年後の目指す姿を見据え、新たな実行計画を策定しました。

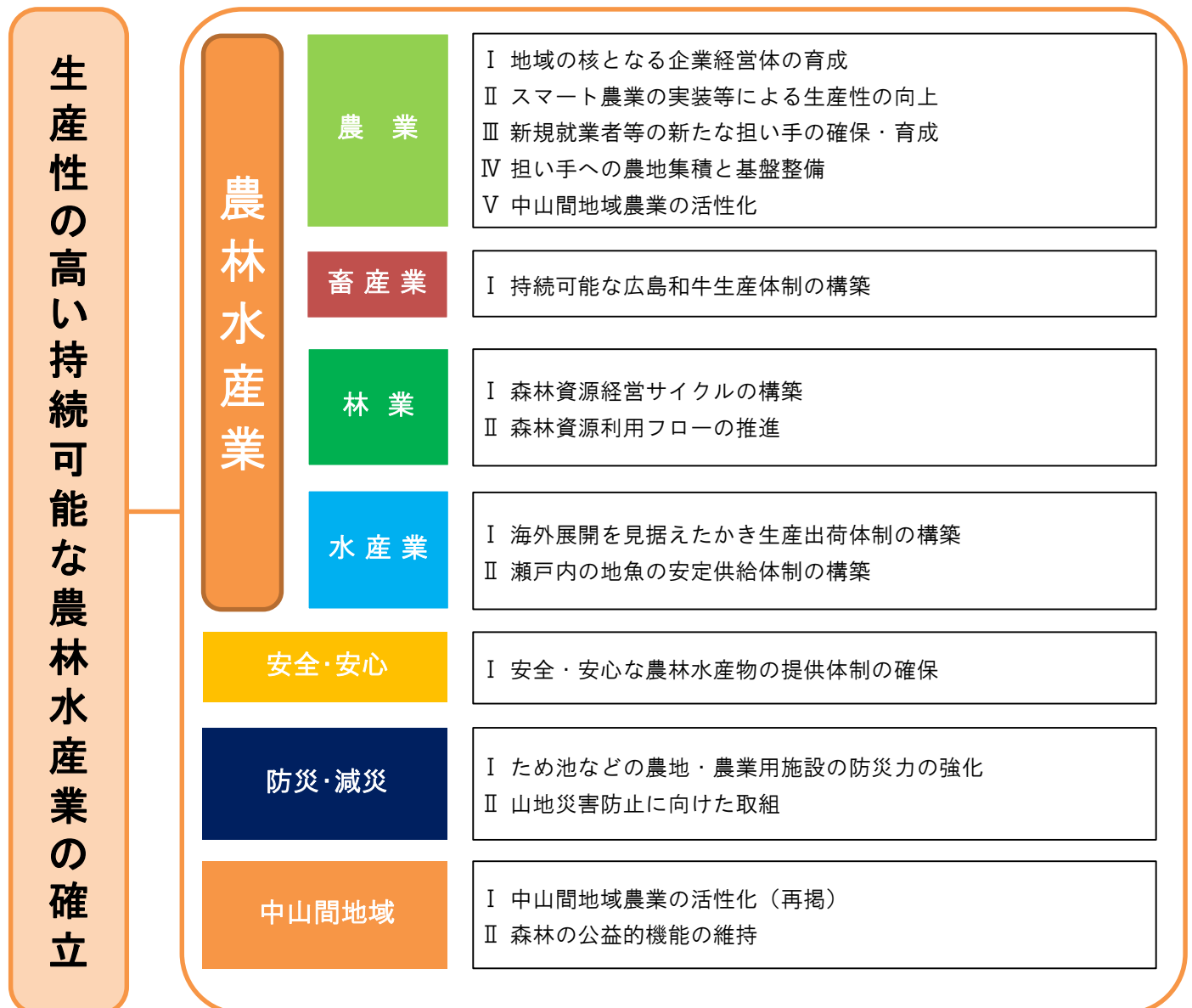
## ■ 計画の考え方

○このプログラムは、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」における農林水産業等の分野別計画として位置付け、その目指す姿を実現するための具体的な取組等を定めるものです。

○分野ごとの10年後の目指す姿を実現するために、5年後の「目指す姿」と5年間の「取組の方向性」や「具体的行動計画」など、県が主体となって重点的に取り組む内容と達成すべき目標（指標）を明確化します。

## ■ 計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度（5年間）

## ■ 施策体系



「2025広島県農林水産業アクションプログラム」に掲げる農林水産業の主な目標値と達成状況

項目		2022年実績	目標	
			2025年	2030年
農業	農業生産額 ※畜産を除く	707億円	736億円	746億円
	農業生産額1千万円以上の経営体数	630経営体	655経営体	705経営体
	農業生産額1千万円以上の経営体生産額	262億円	275億円	335億円
畜産業	比婆牛を取り扱う高級飲食店の増加数	4店舗 (2023実績値)	10店舗	30店舗
	広島和牛を肥育する企業経営体数	3経営体	5経営体	15経営体
	広島和牛を肥育する企業経営体の飼養頭数	2,201頭	2,730頭	4,850頭
林業	集約化された林業経営適地の面積	累計：1.0万ha (2023実績値)	1.8万ha	4.0万ha
水産業	かき輸出力	1,700トン	2,000トン	2,500トン
	海面漁業生産額800万円以上の担い手数 ※いわし類を除く	48経営体	71経営体	84経営体
	海面漁業生産額800万円以上の担い手生産額 ※いわし類を除く	5億円 (2021実績値)	11億円	19億円

広島県農林水産業の主要指標

区分	調査時	単位	実績		順位
			広島県	全国	
農業					
総農家数	2020	戸	45,335	1,747,079	16
個人経営体数	2020	経営体	21,491	1,037,342	21
主業経営体数	〃	〃	1,989	230,855	33
準主業経営体数	〃	〃	2,580	142,538	22
副業的経営体数	〃	〃	16,922	663,949	14
世帯員数 (個人経営体)	2020	人	61,488	3,489,686	23
(うち女性比率)	〃	%	49.7	49.4	20
(うち65歳以上比率)	〃	〃	53.4	44.6	2
農業従事者数 (個人経営体)	2020	人	47,726	2,493,672	22
(うち女性比率)	〃	%	45.0	43.9	9
(うち65歳以上比率)	〃	〃	59.6	52.5	2
基幹的農業従事者 (個人経営体)	2020	人	24,534	1,363,038	26
(うち女性比率)	〃	%	39.7	39.7	23
(うち65歳以上比率)	〃	〃	83.5	69.6	4
耕地面積	2023	ha	50,900	4,297,000	27
(田)	〃	〃	38,500	2,335,000	24
(畑)	〃	〃	12,400	1,962,000	31
(1経営体当たり経営耕地面積)	2020	〃	1.3	3.1	34
農作物作付延面積	2022	〃	38,600	3,947,000	33
耕地利用率	2022	%	74.5	91.3	46
荒廃農地面積	2021	ha	7,887	259,502	13
農業産出額	2022	億円	1,289	90,147	25
(米)	〃	〃	229	14,015	25
(野菜)	〃	〃	271	22,298	28
(果実)	〃	〃	165	9,232	14
(花き)	〃	〃	25	3,493	39
(畜産)	〃	〃	582	34,673	16
生産農業所得	2022	〃	377	31,826	31
林業					
森林面積	2020	ha	618,092	24,770,166	10
国有林	〃	〃	47,322	7,153,338	20
民有林	〃	〃	570,770	17,616,828	6
うち保安林	2021	〃	207,153	5,343,671	4
森林蓄積総数	2022	千m3	115,512	5,560,201	21
林家数	2020	戸	35,928	690,047	1
森林組合数	2021	数	15	610	15
森林組合員数	2021	人	72,923	1,475,466	3
林業産出額	2022	千万円	851	50,998	23
(木材生産)	〃	〃	446	29,282	21
木材(素材)生産量	2022	千m3	331	22,082	22
木材(素材)需要量	2022	〃	1,936	25,954	2
外材(素材)需要量	2022	〃	1,495	3,872	1
林野火災被害面積	2022	ha	9	605	13
松くい虫被害量	2022	千m3	10	249	8
水産業					
漁業経営体数	2018	経営体	2,162	79,067	15
海面漁業 (延数)	〃	〃	1,829	65,117	14
海面養殖業 (延数)	〃	〃	333	13,950	14
漁業就業者数	2018	人	3,327	151,701	19
漁業生産量	2022	t	116,315	3,916,946	8
海面漁業	〃	〃	16,890	2,950,992	28
海面養殖業	〃	〃	99,344	911,839	2
かき(殻付き)養殖	〃	〃	96,816	165,590	1
内水面漁業	〃	〃	21	22,612	28
内水面養殖業	〃	〃	60	31,503	29
漁業生産額	2021	億円	230	12,552	17
海面漁業	〃	〃	63	8,037	28
海面養殖業	〃	〃	167	4,515	12
かき養殖	〃	〃	159	329	1

資料：2020農林業センサス確報値ほか

多面的な役割を持つ農林水産業・農山漁村

【本県における農業・農村の公益的機能の評価額】

【本県における森林の公益的機能の評価額】

(単位：億円/年)

洪水防止	751	田畑が降雨を一時貯留し、周辺に徐々に流したり、雨水の急激な流出を防ぐことで、洪水を防止・軽減する役割
水資源かん養	286	降雨や、灌漑によって導かれた河川水等を田畑が地下に浸透させ、蓄える役割
土壌侵食防止	45	農地で作物を栽培することにより、土壌侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	11	耕作されている水田が地下水を安定的に維持し、土砂崩壊を防止する役割
有機性廃棄物処理	1.8	農耕地が、有機性廃棄物を堆肥として還元し、廃棄物の最終処理経費を軽減する役割
気候緩和	3.4	水田が、水分の蒸発により周囲の気温を低下させ、特に夏期においては、周辺地域の気候を緩和させる役割
保健休養・やすらぎ	404	田畑は農村の景観の一部を構成し、その景観や自然が人に潤いややすらぎを与える役割
合計	1,502	

水源かん養	5,300	森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水量を平準化し、洪水や濁水を防ぎ、さらにその過程で水質を浄化する役割
土砂流出防止	9,527	森林の下層植生や落葉枝が地表の侵食を抑制する役割
土砂崩壊防止	2,076	森林が根茎を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防ぐ役割
保健休養	516	森林が人にやすらぎを与え、余暇を過ごす場として果たしている役割
二酸化炭素吸収	312	森林がその成長の過程で二酸化炭素を吸収している役割
化石燃料代替	49	木造住宅の建築による化石燃料代替効果
合計	17,780	

資料：広島県の評価額…農林水産部(平成14年)による推計値  
注：機能によって評価手法が異なっていること、また、評価されている機能が多面的機能全体のうち一部機能に過ぎないことから、合計値は参考とします。